

『これだけはおさえない』簿記指導者講習会 アンケート結果
(平成 30 年度 8 月開催)

【実施内容】

日 時： 8 月 8 日（水） 9：30～15：30

会 場： 長野県総合教育センター 第5研修室

参加者： 参加校 7校 11人

中野立志館（2）、北部（1）、長野商業（3）、諏訪実業（1）、蘇南（1）、穂高商業（2）
松商学園（1）

講 師： 東京 CPA 会計学院 松葉 崇史 先生

内 容： 「工業簿記の全体像について」

工業簿記について初学者に対してどのように専門学校では指導しており、どのようなことを大事にしているかを中心に、指導者として気をつけたいことやおさえておきたいことを織り交ぜての講義をしていただいた。工業「簿記」と「原価計算」との関係や「製造」勘定と「仕掛品」勘定との違いなど、あまり気にしなかった内容の話もあり新鮮な内容でした。

『工業簿記の原価の流れについては、繰り返し生徒に指導することにより身に付くものであり何度も行うことが大切。この流れを意識していくことにより処理の意味が理解できる。全商検定などの仕訳の問題に苦勞するのは結局のところ、原価の流れが分かっていないからどの処理を行えばよいか分らないためである。』

『工業簿記、原価計算は考え方の学びであり、計算の裏側にある考え方をおさえていくことが重要』などという話しが特に印象に残る大変有意義な講習会となりました。

I 開催時期、回数、時間など

1 実施時期について

①良かった	…	1	1	②もう少し早いほうが良い	…	0
③もう少し遅いほうが良い	…	0				

2 講習時間について

①本日ぐらいが良い	…	9	②もう少し短いほうが良い	…	0
③もっと長いほうが良い	…	2			

3 内容について

①難しかった	…	0	②ふつう	…	9
③簡単	…	2			

II 扱ってほしい内容や要望など

- ・ 商業簿記の同じような内容の研修があれば参加したい。
- ・ 原価管理関係の講習を受けてみたい。
- ・ 一通り、各項目（単元）についての講義を受けたいと思いました。3日くらいやりたいです。
- ・ もっと教員の参加があってもいいのではないかと思う内容でした。

- ・簿記を始める最初の段階でおこなう処理や日商2・3級の決算の問題について。
- ・簿記（商業・工業）の流れをやって頂けると点で理解していることが、線となり面となるのでぜひ、続きの個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算などをやっていただきたい。
- ・製造現場、製品情報など教室と実際を結びつけるような内容もあればさらに良かった。
11月開催の講座「財務諸表分析」も実際のデータ等を使った内容もあれば教室にて生徒の関心も高めることができると思います。

Ⅲ 講習会を受講しての感想

- ・工業簿記の流れが分かった。
- ・何度聞いても新しい学びがある。
- ・原価計算のおさえておくべきポイントが確認できた。
- ・初歩的な話しの授業は聞く機会が少ないので貴重だと思います。今回だけでなく続けていただきたいと思います。
- ・検定を意識しなくて良い授業展開が必要だと感じました。
- ・夏休み明けから原価計算を始めようと思っているので導入する際の参考になりました。
- ・私自身の確認にもなり、計算のイメージではなく、どこにつながっていくのかという部分は、私自身が授業をするにあたって意識しておきたい部分だと思いました。
- ・すべての点で「なるほど、そういう意味・必要性があるのか」を感じることはばかりでした。私自身の勉強で終わらせないようにしたいと思います。

【次回12月の講習会について】

次回は「財務諸表分析」を予定しております。講師と相談して実際の財務諸表を使用しての講義をおこない、どう読むかという興味・関心が高まるような内容にしたいと思います。

特に、若い先生に向けてアナウンスをおこないより多くの方の参加を呼び掛けていきたいと思えます。